

# 熊本市の一体的実施

平成25年4月1日事業開始

熊本市役所内に「熊本公共職業安定所福祉就労支援コーナー」を設置し、市とハローワークによる生活保護受給者、児童扶養手当受給者等に対する一体的支援等を効果的・効率的に実施

市

福祉サービス、相談の実施等



国

職業紹介・職業相談の実施等

## ① 事業内容

- ・生活保護受給者、児童扶養手当受給者並びにこれに準ずる者に対する就労支援の実施

## ② 協定・事業計画

- ・熊本市長と熊本労働局長との間で協定を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を熊本市と熊本労働局との間で策定

## ③ 運営協議会

- ・熊本市職員、熊本労働局職員、ハローワーク熊本職員をメンバーとする運営協議会を設置



熊本市中央区役所内に「熊本公共職業安定所福祉就労支援コーナー」を設置し就職支援ナビゲーターを配置し、福祉から就労までの一体的支援等を実現

## (1) 実施体制

市

・支援コーナー 職員 1名

国

・職業相談員3名(就職支援ナビゲーター等)を配置  
・求人情報提供端末4台、職業紹介端末を3台配置

## (2) 事業目標と取組状況

	25年度 事業目標	取組状況(平成26年3月末時点)						
○ 生活保護受給者 及び生活保護受 給に至る前の相 談者	○就労支援者数	計 319 人						
	年間 310人	4月 23人	5月 29人	6月 25人	7月 28人	8月 15人	9月 36人	
		10月 33人	11月 28人	12月 30人	1月 28人	2月 25人	3月 19人	
	○就職件数	計 240 人						
	年間 186人	4月 13人	5月 23人	6月 22人	7月 17人	8月 11人	9月 25人	
10月 26人		11月 26人	12月 22人	1月 19人	2月 22人	3月 14人		
○就職率 60%	75.2%							
○ 児童扶養手当受 給者	○就労支援者数	計 82 人						
	年間 20人	4月 5人	5月 7人	6月 10人	7月 7人	8月 9人	9月 10人	
		10月 6人	11月 4人	12月 5人	1月 5人	2月 8人	3月 6人	
	○就職件数	計 43 人						
	年間 14人	4月 0人	5月 1人	6月 4人	7月 4人	8月 3人	9月 4人	
10月 3人		11月 4人	12月 4人	1月 5人	2月 7人	3月 4人		
○就職率 70%	52.4%							

# 一体的実施事業による就職成功例

女性：26歳

Hさん（熊本市在住）

## ● 本人の状況・背景

- ・小学生時に母と弟の3人家族(母子家庭)となった。
- ・高校時代からアルバイトを経験するが長続きしなかった。卒業後も定職に就けず、アルバイトを行ったが長続きしなかった。
- ・平成22年母親による暴力があり世帯が分離となり生活保護受給開始。
- ・平成24年職業訓練(支援訓練)によりヘルパー2級を取得した。

## ● 抱える課題：「生活保護を脱却し早く自立したい」

- ・自立するための安定収入として、手取り収入金額13万円以上の職に就きたい。
- ・自宅から通勤できる介護施設へ正職員として、勤めたい。また、巡回の介護職(デイサービス等)もできるように、車の免許を取得したいが、その資金はない。

## ● 支援内容・ポイント・経過

### 【HW側就職支援ナビゲーターとしてのHさんへの支援ポイント】

- ・Hさんの話しを常に傾聴することを心がけ、市の就職相談員FさんとCW(ケ-ル-カ)Nさんとよくコミュニケーションをとるようにアドバイスを行った。
- ・応募の際の心構えやマナーなども含めFさんと連携をとりながら、就職相談を行った。

### 【市の就職相談員としてのHさんへの支援ポイント】

- ・就職については、実務経験が浅いこともあり実務経験を積むため当面パートなど短時間の就労も相談を行った。
- ・就職支援のため、履歴書等の添削や模擬面接の繰返しなど、懇切丁寧な指導を行った。

### 【経過】

- ・4月の支援開始時は、被害者意識も強く、就活への不安や焦りからか、他人の意見を聞き入らないといった頑なさが見られたが、8月来所の頃には、人間的に角がなくなりコミュニケーションもよく取れるようになり、就職支援を素直に受け入れることができるようになり、会話についても、声も大きくはっきり喋れるようになった。

## ● 結果

- ・特老施設の介護職（正職員、試用期間有）として8月上旬に就職し、年明けには試用期間も終了し正社員として自立も可能な状況となる予定。

## ● 支援ナビゲーターの所感

- ・今回の成功要因としては、まず、Hさん本人が、生活保護から何としてでも自立したいという強い気持ちを持ち、諦めずに就職活動を続けることができたことが一番の要因です。併せて、市の相談員Fさんの心を込めた就職支援も大きな要因です。また、そのベースとして、本人を含めた支援チームの三者の信頼（人間）関係ができあがっていた為ということも補足しておきます。私はまだ就職支援ナビゲーターとして日が浅く、毎日が勉強ですが、この成功体験をもとに、信頼関係に基づく就職支援を行うということを常に念頭に、日々精進してまいります。